

# 必ずできる!

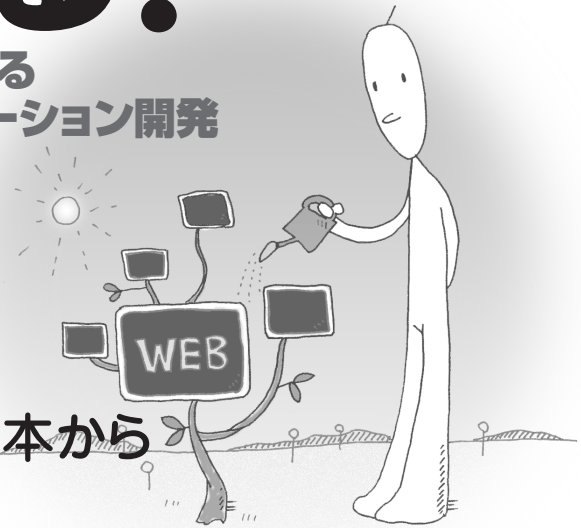
## 基礎固め ゼロからはじめる Webアプリケーション開発

# ASP.NET

第2回

## スケジュール登録画面を 作成する～画面設計の基本から

山田 祥寛 YAMADA, Yoshihiro  
<http://www.wings.msn.to/>



### Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

### Level



### Samples

### ASP.NETは 画面設計から

さあ、今回からはよいよ具体的な「共有スケジュール帳」の作成に入ってゆきましょう。

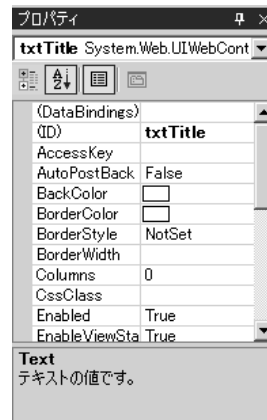
ASP.NETによるアプリケーション構築は、まず画面の設計から始まります。この部分は通常の静的な（HTMLだけの）ページを作成するのとなんら変わりはありません。Visual Studio .NET（以下VS.NET）上のツールボックスから、必要な部品（コントロール）を選択し、中央のフォームデザイナー上にドラッグ&ドロップしてゆくだけです。

コントロールは最初はデフォルトの大きさ、形状で配置されますが、アクティブにした状態（まわりが□のポインタで囲まれた状態）で、□の部分の部分を左右上下に引っ張ることで大きさを自由に変更することができます。また、背景色や表示テキストを変更したいという場合には、プロパティウィンドウ（図1）から値を入力することもできます。プロパティウィンドウが表示され

ていないという場合には、メニューから [表示] - [プロパティウィンドウ] を選択してください。

プロパティウィンドウの下部には、選択されたプロパティに応じて、そのプロパティの説明が表示されますので、それぞれのプロパティがどんな役割を担っているかを理解するのは、比較的簡単なはずで。視覚的に意味のあるプロパティの場合は、プロパティ値を変更することでフォームデザイナーの見かけもリアルタイムに変化します。

図1：プロパティウィンドウ



# 必ずできる!

基礎固め ゼロからはじめる  
Webアプリケーション開発

# ASP.NET



## 「DOCUMENT」で ページ属性の設定

VS.NETからプロジェクトを起動したら、まず新規のWebフォームをソリューションエクスプローラから起動してみましょう（プロジェクト名を右クリックし、表示されたコンテキストメニューから [追加] - [新規Webフォームの追加] を選択）。すると、空のフォームが起動しますが（図2）、このフォーム（ページ）の状態を表わすのが「DOCUMENT」の役割です。背景色や余白のようなスタイル/表示に関わる設定から、文字コードや使用するページ設計モード、スクリプト言語、ターゲットとするクライアントの種類などを設定することができます。

DOCUMENTのプロパティは、一般的なプロパティウィンドウのほかに、専用の「DOCUMENTプロパティページ」から主要な項目を設定することも可能です（図3）。この画面を表示するには、フォームデザイナー上で何も選択しない状態で右クリックし、表示されたコンテキストメニューから [プロパティ] を選択してください。

### \* ターゲットスキーマ

ターゲットスキーマ (targetSchema プロパティ) は、VS.NETでページをデザインする際、使える機能に影響します。たとえば、CSS (Cascading Style Sheet) を利用するためにはHTML4.0以上をサポートするブラウザを選択する必要がありますし、「Internet Explorer 3.02/Navigator 3.0」を選択した場合には、クライアントサイドの既定のス

図2：空のWebフォーム

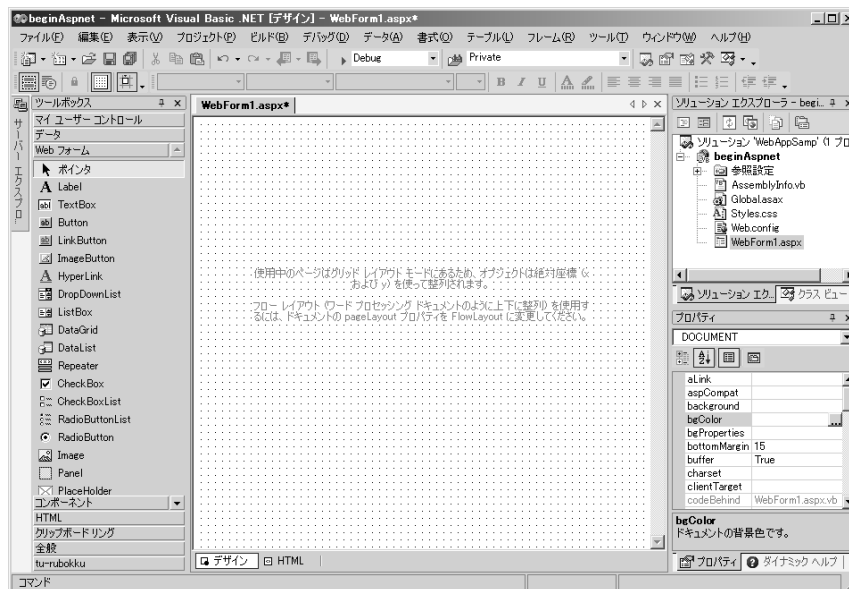
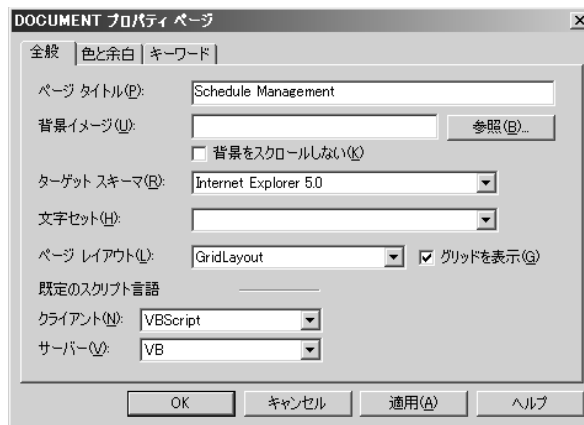


図3：DOCUMENTプロパティページ



クリプト言語としてVBScriptを選択することはできなくなります。

ただし、ターゲットスキーマとはあくまでIDE (統合開発環境) 上の動作を制御するため (コーディング時に対象外の命令やコントロールを非表示にするため) のもので、実行時の出力内容を左右するものではない点に注意してください。デフォルトで、ASP.NETは「実行時に」クライアントの種類を判別し、出力内容を変更します (図4)。

たとえば、比較的新しいブラウザを使用している場合、レイアウトの細部はCSSで出力されますが、古いブラウザを使用している場合、HTML要素を使用して出力が行なわれます。つまり、ASP.NETの世界においては、これまでインターネットプログラミングを行なう際に、最も苦勞してきた、「Internet Explorerであるか、Netscape Navigatorであるか、あるいはそれ以外のブラウザであるか」という点に関して、われ